

令和6年度第5回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議会議録

日時	令和7年2月17日（月）午後1時30分
場所	小美玉市役所本庁2階 第2会議室
出席者	<p>【有識者】</p> <p>馬渡座長、石塚委員、名和委員、綿引委員、鶴町委員、笹原委員、小林委員、本田委員、戸田委員、小松崎委員、立原委員、深谷委員</p> <p>【事務局】</p> <p>（市長公室）滑川公室長 （政策企画課）植田課長、海保課長補佐、大槻主幹、 （行革デジタル推進課）箕輪課長、高田課長補佐</p> <p>【コンサルタント】</p> <p>（株）都市環境計画研究所 澤田、藤本</p>
配布資料	<p>資料1：総合戦略パブリックコメント対応表</p> <p>資料2：小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）</p> <p>資料3：第3期小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略ダイヤモンドシティ・プロジェクト（案）</p> <p>資料4（タブレット掲示のみ）：令和7年度実施予定事業の概要</p>

令和6年度第5回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議会議録

発 言 者	内 容
事務局	<p>1 開会 2 挨拶 3 協議事項 総合戦略パブリックコメント結果について</p> <p style="text-align: center;">＜資料1を説明＞</p>
座長	<p>3人の方から主に4つの点について意見をいただきました。これらへの市の対応は説明の通りです。こちらの内容に関わらず、関連したご意見・ご質問でも結構です。委員の皆様、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>小美玉市の発信については私もしていますし、発信している方のことも知っているのですが、頑張っていると思っています。しかし、つい最近、小美玉市内の飲食店に行ったときに、「全く私のもとに発信された情報が届かない」と言われました。その方は、行政区に加入していないから広報紙は見ない、得意ではないからSNSも見ないので発信された情報が届かないという不満がある様子でした。そういう方に向けてどう発信したらよいかは自分でも課題に感じていて、考えていかなければならないと思っていました。ちょうどパブリックコメントでも意見があったので、やはり課題であると思いました。</p> <p>また、茨城空港は小美玉市の特徴になる部分なので、ここを生かして、何か実現していければよいと思いました。つい最近、茨城空港の今後の計画についての話がありました。何年後にどうなるかはわかりませんが、何か期待できるものができていけば、私たち市民側からもどんどん発信していきますし、その情報がみんなに伝わっていき、PRもしやすくなると思います。想像的なものではありませんが、意見として述べさせていただきました。</p>
座長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p> <p>デジタル人材の確保とありますが、育成も大切だと考えます。折しも、今年の2月に実施された大学入学共通テストでは「情報Ⅰ」という必修科目が新たに追加になりました。その内容は一言でいうとデジタルマーケティングの話でした。今の子どもたちは、小学校からプログラミングを行い、中学校、高校を含めてデジタルに関して勉強しています。その後は大学進学あるいは就職と進んでいきます。当然、小美玉市も小学校・中学校を所管していますので、彼ら</p>

	<p>をどう育成するかだけではなく、雇用面を視野に入れた考えも必要です。例えば、小美玉市の民間企業がデジタル人材の育成に中長期的に力を入れているということであれば、「小美玉市に行けば、短期的ではなく中長期的にデジタル人材が確保できる」という企業進出の誘因にもなります。実際に熊本県天草市では、この2年間で二十数社の企業が進出しています。日本でも稀な例ですが、これは「舵を切った」ことにより起こりました。というのも、天草市は漁業や観光が主産業なのですが、製造業での誘致を目指して補助金や助成金を出しましたが、集まりませんでした。そこでIT方面に舵を切りました。パブリックコメントの意見とは異なりますが、私はむしろ育てる・供給する方が重要であると考えます。フリーランスの仲介等について言及されていますが、掘り起こしも大切です。なおかつ誘致する企業についても、テレワーカーの派遣だけではなく、さらに付加価値を高めるような、収入を多くするようリスクリングを行い、リーダーになるような人材、大きな仕事を獲得するような人材を育成することが大切です。天草市ではただ人材を供給するというような方法ではなく、育てて、なおかつ付加価値の高い技能を学ばせ身に付けさせ、「天草に行けば人材がいる」という中長期的なストーリーを作り取り組んでいます。ぜひ、短期的な計画ではなく、中長期的な戦略をもっていただければと思います。</p> <p>また、これだけではなく、企業誘致や郷土検定、シビックプライドの背骨・バックボーンとなる思想のようなものが大切であると思います。水戸でいえば、かつては水戸学があり、それに沿って藩政が進められてきました。例えば、小美玉学というものを今から作る、というよりもすでにあると思いますので、そこを固めたうえで、ひとづくり、まちづくり、未来の小美玉市をどうするのかを考えることも大切だと思います。これは総合戦略です。デジタル人材やDXは手段に過ぎないので、ぜひ中長期的な大きな目標を含めて考えていただきたいと思います。</p> <p>他の方、ご意見あればお願いします。</p> <p>この中でどのように優先順位をつけて進めていくか、考えはありますか。いろいろな方策は立てられると思いますが、このような優先順位をつけることが小美玉市では一番効率がよい、というような青写真があれば教えていただきたいです。</p> <p>総合戦略は5か年の計画ですが、優先順位については、できることから進めるということが基本的な考え方です。今回総合戦略案が整いましたので、その中からいくつかの事業を来年度、令和7年度の事業に反映させるという方針で進めております。</p>
委員	
事務局	

<p>委員</p>	<p>いろいろな分野があると思いますが、その地域の特性を作っていくとなると、小美玉市はやはり空港が1つの核になるのではないかと、市民の方もおっしゃっていました。ヘリコプターの修理基地など、人や物を運ぶ空に関する仕事が、小美玉市の中では発展性があるのではないかと思います。そういった考えを含めての事業化などについても、何か青写真を描いていただけるとよいと思います。</p> <p>空飛ぶ車の時代が間もなく来ると言われていますが、茨城空港から水戸や東京まで20分ぐらいで人を運べたら、それは利便性の1つになりますし、空飛ぶ車で人などを運べる技術者が集まるということも、1つの雇用を生むことになるかと思えます。</p> <p>他のところではできない、そういう部分が小美玉市にはあると思いますので、その辺りも汲んでいただけるとありがたいです。</p>
<p>座長</p>	<p>根拠となるヒントはたくさんあると思います。私もまったく同じ考えです。耳守神社にある大きな仏像は、かつて江戸初期に伊豆半島から持ってきたそうです。当時は空から運ぶことはもちろんできませんので、川を遡って持ってきたそうです。その当時から現在に至るまで、運輸によって人を結ぶ、さまざまな人たちが交流する結節点のようなどころになっていたということです。もちろん今と当時の河川行政はまったく違いますし、現在の小美玉は空が主力になると考えられます。小美玉には小美玉の行政・政治・歴史がありますので、そこに沿った形で今後いろいろな取組をしていくとよいと思います。各自治体同士で同じような施策を後追い競争のように展開することは、特に小さな自治体では大変なことです。その中でどのように独自色を出していくか、どこも苦労していると思います。ぜひ、バックボーンとなるような歴史的な背景も含めて検討すると、また違う小美玉市が生まれてくると思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>今回はパブリックコメントをテーマとして皆様に議論いただいておりますが、これに限らず、時代の変化に伴いいろいろな情報や意見が皆様のもとに入っていると思います。そういった情報等は事務局に寄せていただければ、またこの場で議論できると思います。よろしく願いいたします。</p> <p>協議事項は1点のみとのことで以上となります。以降は進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 その他</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして次第4のその他です。令和7年度実施予定事業の概要についてです。総合戦略に関する事業を、総合戦略の体系図とあわ</p>

事務局	<p>せてご覧いただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">＜資料４を説明＞</p> <p>令和７年度の予算はまだ議会議決前ですので、予定ということでご了承ください。</p> <p>ただいまの説明内容で不明点やご質問があれば、お願いします。</p>
委員	<p>台湾の淡水区の方と交流事業を持つとのことですが、どのようなまちなのでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年の１０月に新北市淡水区とMOU、友好交流の覚書を結びました。サイクリングロードがある、名門ゴルフ場がある、夕日が綺麗である、芸術文化に力を入れている、この４つの項目にあてはまるところが淡水区です。</p> <p>淡水区は、台湾で１００余年の歴史がある名門ゴルフ場があります。また、台湾の最北端に位置し立派な海岸線があり、スペインやイギリスの領土であったことから西洋風的情緒豊かな面もあり、観光の名所です。</p> <p>今後については、来年度は市民の交流団を派遣したいと思っております。また、台湾は小学校から英語教育が充実していて、先日小中学校を訪問した際には、小中学生は英語で資料の説明をしていました。まだ不確定ですが、淡水区の中学生が４月の下旬に東京にいらっしゃるというお話がありますので、ぜひ受け入れて、小美玉市の中学校との交換留学も行っていければと思います。</p> <p>淡水区の人口は約１７、８万人です。新北市は、首都・台北市の周りを囲むように位置しており、その人口は４００万人です。例えると、新北市が茨城県、そして淡水区が小美玉市というような関係性になりますが、小美玉市としては、淡水区との交流を進めることはもちろん、新北市全体との交流も広く進めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>電子回覧板というものに馴染みがないのですが、こちらは行政区に入っていない方でも利用できるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在のところは行政区に加入されている方のみが利用可能となっています。電子回覧板を導入したきっかけは、行政区の加入促進といった視点もあったため、電子回覧板の閲覧には、ID・パスワードが必要となっています。運用方法は今後検討してまいります。</p>

委員	<p>希望としては、行政区関係なく見られるとよいと思います。先ほど言っていたように、行政区に入っていない、SNSもやっていなくても、電子回覧板なら自動的に届くとなれば、よいものだと思います。</p>
委員	<p>いろいろなアプリやデジタルツールを使うということが再三登場しますが、基幹業務というものの話もありました。こちらと、一般の人が使うものの共通化や連携は、セキュリティの都合上でできないのでしょうか。</p>
事務局	<p>全国同じ仕様で統一するように国から決められている20業務があります。まずは、住民基本台帳という、個人情報すべて集約されているシステムがあります。これをどの市町村も同じようなシステムにすることで、引っ越しのときに、その方が持っている介護保険や健康保険の加入状況等の情報を引き継ぐことができ、市民の方の手続きが楽になるというメリットが今後広がっていきます。そういったもののシステムが20種類あり、例えば戸籍や年金、税金関係などとなっています。こういったものがすべて他市町村と同じシステムになることで、転出者・転入者の情報共有が進みます。</p> <p>また、今はマイナンバーカードで大体の情報を統一して、国を通して全国津々浦々での情報共有を目指すことが、基幹業務システムの標準化というものです。</p>
委員	<p>若者に情報発信するにも、使うシステムが増えると管理する人が大変だと思います。</p> <p>また、セキュリティの都合上突飛なことはできないとは思いますが、基幹業務について、先ほどのデジタル人材の育成の取組に関連付けることはできないのでしょうか。立派なものでなくてもよいので、低セキュリティでも運用できるようなものだけでも、地元の皆さんに、委託するような動きはないのでしょうか。</p> <p>例えば、学校のアプリに掲示板のようなものがありますが、それぞれのサービスのアカウントを作らなければならないことが面倒です。この辺りのログイン手続きを一元化できないものかという思いは、ユーザー目線では常にあると思います。これで手間が減るのであれば、他の具体的な中身を充実させる方がよいと思います。</p> <p>学校・教育委員会からくる通知も、親切に通知を出してくれる人とそうでない人との差がどうしても出てしまいます。仕方がないことかもしれませんが、利便性という観点では、本業に注力できるようにした方がよいと思います。学校の先生もおそらくいろいろな市</p>

事務局	<p>町村が異動対象だと思うので、同じシステムを使えた方がよいと思います。ユーザー目線でみるともう少々、何か共通化できればよいと思っています。</p> <p>人材活用についても、小美玉市限定のサービスのような簡単なものから参画してもらうことは、人材育成の面ではありかと思いますが、もう少々広域で、人の流れや使う人の利便性を含めて考えていただけるとよいと思っています。</p> <p>今のご意見を聞いて思い浮かべたのが、LINEアプリです。他の市町村では、セキュリティレベルを下げてLINEで市民と繋がりを持っているところもありますが、小美玉市ではLINEの導入は検討できていない状況です。LINEのサーバーが海外にある都合上、国からは導入を推奨しない指示が出ているためです。ただし、市民目線からするとLINEは使いやすいことから、許容され使われている市町村もあれば、セキュリティを重視して導入しない市町村もあり、二極化しています。</p> <p>もうひとつが、ガバメントクラウドです。こちらは国が作ったクラウドであり、セキュリティは最高レベルのものです。ただし、利用には年間2,700万かかりますので、高額な税金を使ってセキュリティを確保するということになります。</p> <p>市民の方々の使いやすさを考えながら便利なアプリ等を導入していきたいところですが、海外からの攻撃対象にもなり得ることを想定し、しっかりとセキュリティ対策を含めつつ検討して参りたいと思っています。</p>
委員	<p>市の入札参加資格申請についても、周りの市町村で仕様が違っていき、進み方にも差があります。美浦村だと思いますが、そこらは久々にログインしても過去の入力データが残っていて、申請が楽でした。</p> <p>入札参加資格申請については、地元の業者さんに聞くとやはり面倒を感じているようです。こちらは、基本的に公開されているデータの入力なので、セキュリティの懸念も少ないと思います。こういったところから進めていただけると、利用者も行政の方も負担軽減となるので、ぜひ検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、今後の予定についてです。これまで5回の協議をいただきました。人口ビジョン及び総合戦略については、3月中の策定を予定しています。最終的な計画書は、後日委員の皆様配布させて</p>

<p>深谷副市長</p>	<p>いただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは最後に、計画策定にご尽力いただきました委員の皆様、深谷副市長よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>市長に代わりまして、御礼のごあいさつを申し上げたいと存じます。1年間にわたりまして、馬渡先生をはじめ各委員の皆様におかれましては、計画策定に向けて大変ご尽力いただきまして、心から御礼申し上げます。ありがとうございました。おかげさまで皆様の貴重なご意見・知見をもとに、新たな総合戦略案ができたと思っております。先ほど委員からご意見がありましたが、内容につきましては順次できるところから、着実に進めていきたいと考えております。先ほど令和7年度の主要事業の説明がありましたが、議会の承認を経て進めていきたいと思っております。</p> <p>私が今回特に感じたことは、市民のアンケート調査の中で「子どもの遊び場がない」という意見が多数ありました。子どもの遊び場を整備するということは、この計画の中に新たな切り口・視点で盛り込まれたと思っております。来年度から順次、子どもの遊び場について整備を進めて参りたいと考えておりますので、ご協力をお願いしたいと存じます。</p> <p>なお来年度につきましては、また、有識者会議を開きまして、今度は進捗状況につきまして皆様に報告させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。1年間大変お世話なりまして、ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>5 閉会</p> <p>以上をもちまして、第5回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p>